



ポリシーの適用に対する URL の分類

- [URL トランザクションの分類の概要 \(9-1 ページ\)](#)
- [URL フィルタリング エンジンの設定 \(9-4 ページ\)](#)
- [URL カテゴリ セットの更新の管理 \(9-4 ページ\)](#)
- [URL カテゴリによるトランザクションのフィルタリング \(9-10 ページ\)](#)
- [カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 \(9-16 ページ\)](#)
- [アダルト コンテンツのフィルタリング \(9-21 ページ\)](#)
- [アクセス ポリシーでのトラフィックのリダイレクト \(9-23 ページ\)](#)
- [ユーザへの警告と続行の許可 \(9-24 ページ\)](#)
- [時間ベースの URL フィルタの作成 \(9-26 ページ\)](#)
- [URL フィルタリング アクティビティの表示 \(9-26 ページ\)](#)
- [正規表現 \(9-27 ページ\)](#)
- [URL カテゴリについて \(9-30 ページ\)](#)

URL トランザクションの分類の概要

グループ ポリシーを使用して、疑わしいコンテンツを含む Web サイトへのアクセスを制御するセキュリティ ポリシーを作成できます。ブロック、許可、または復号化されるサイトは、各グループ ポリシーのカテゴリ ブロッキングを設定する際に選択するカテゴリに応じて決まります。URL カテゴリに基づいてユーザ アクセスを制御するには、Cisco Web Usage Controls をイネーブルにする必要があります。これは、ドメインプレフィックスとキーワード分析を使用して URL を分類するマルチレイヤ URL フィルタリング エンジンです。

以下のタスクを実行するときに、URL カテゴリを使用できます。

オプション	方法
ポリシー グループ メンバーシップの定義	URL と URL カテゴリの照合 (9-3 ページ)
HTTP、HTTPS、および FTP 要求へのアクセスの制御	URL カテゴリによるトランザクションのフィルタリング (9-10 ページ)
特定のホスト名と IP アドレスを指定する、ユーザ定義のカスタム URL カテゴリの作成	カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 (9-16 ページ)

失敗した URL トランザクションの分類

動的コンテンツ分析エンジンは、アクセス ポリシーのみを使用して Web サイトへのアクセスを制御する場合に URL を分類します。ポリシー グループ メンバーシップを判別する場合や、復号化ポリシーまたはシスコ データ セキュリティ ポリシーを使用して Web サイトへのアクセスを制御する場合は、URL を分類しません。その理由は、このエンジンが宛先サーバからの応答コンテンツを分析することによって機能するからです。そのため、サーバから応答をダウンロードする前の要求時に行う必要がある決定では、このエンジンを使用できません。

未分類 URL の Web レピュテーション スコアが WBRIS の許可範囲内にある場合、AsyncOS は動的コンテンツ分析を行わずに要求を許可します。

動的コンテンツ分析エンジンは URL を分類した後、カテゴリの評価と URL を一時キャッシュに格納します。これによって、以降のトランザクションで以前の応答のスキャンを利用し、応答時ではなく要求時にトランザクションを分類できます。

動的コンテンツ分析エンジンをイネーブルにすると、トランザクションのパフォーマンスに影響することがあります。ただし、ほとんどのトランザクションは Cisco Web Usage Controls URL カテゴリ データベースを使用して分類されるので、動的コンテンツ分析エンジンは通常、トランザクションのごく一部に対してのみ呼び出されます。

動的コンテンツ分析エンジンのイネーブル化



(注) 定義済みの URL カテゴリを使用して、アクセス ポリシー(またはアクセス ポリシーで使用される ID)でポリシー メンバーシップを定義できます。また、アクセス ポリシーにより同じ URL カテゴリに対してアクションを実行できます。ID とアクセス ポリシー グループ メンバーシップを判別するときに、要求の URL を未分類にすることも可能です。ただし、サーバから応答を受信した後で動的コンテンツ分析エンジンで分類する必要があります。Cisco Web Usage Controls は動的コンテンツ分析によるカテゴリ評価を無視し、残りのトランザクションに対する URL の評価は「未分類」のままになります。ただし、それ以降のトランザクションは引き続き、新しいカテゴリ評価を利用できます。

-
- 手順 1 [セキュリティ サービス (Security Services)] > [使用許可コントロール (Acceptable Use Controls)] を選択します。
 - 手順 2 Cisco Web Usage Controls をイネーブルにします。
 - 手順 3 動的コンテンツ分析エンジンをクリックしてイネーブルにします。
 - 手順 4 変更を送信して確定します([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。
-

未分類の URL

未分類の URL とは、定義済みの URL カテゴリにも付属のカスタム URL カテゴリにも一致しない URL です。



(注) ポリシー グループのメンバーシップを判別するときに、カスタム URL カテゴリは、ポリシー グループのメンバーシップに対して選択されている場合にのみグループに含まれていると見なされます。

一致しないカテゴリと見なされたトランザクションはすべて、[レポート (Reporting)] > [URL カテゴリ (URL Categories)] ページで [分類されていない URL (Uncategorized URL)] として報告されます。未分類 URL の多くは、内部ネットワーク内の Web サイトへの要求から生じます。カスタム URL カテゴリを使用して内部 URL をグループ化し、内部 Web サイトに対するすべての要求を許可することを推奨します。これによって、[分類されていない URL (Uncategorized URL)] として報告される Web トランザクションの数が減少し、内部トランザクションが [バイパスされた URL フィルタリング (URL Filtering Bypassed)] 統計情報の一部として報告されるようになります。

関連項目

- [フィルタリングされない未分類のデータについて \(9-26 ページ\)](#)。
- [カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 \(9-16 ページ\)](#)。

URL と URL カテゴリの照合

URL フィルタリング エンジン クライアント要求の URL と URL カテゴリを照合するときに、まず、ポリシー グループに含まれているカスタム URL カテゴリと照合して URL を評価します。要求の URL がグループに含まれているカスタム カテゴリと一致しない場合、URL フィルタリング エンジンはその URL を定義済みの URL カテゴリと比較します。URL がカスタム URL カテゴリにも定義済みの URL カテゴリにも一致しない場合、要求は未分類になります。



(注)

ポリシー グループのメンバーシップを判別するときに、カスタム URL カテゴリは、ポリシー グループのメンバーシップに対して選択されている場合にのみグループに含まれていると見なされます。



ヒント

特定の Web サイトが割り当てられているカテゴリを確認するには、[未分類の URL と誤分類された URL のレポート \(9-3 ページ\)](#) の URL に移動します。

関連項目

- [未分類の URL \(9-2 ページ\)](#)

未分類の URL と誤分類された URL のレポート

未分類の URL および誤分類された URL をシスコに報告できます。シスコでは、複数の URL を同時に送信できる URL 送信ツールをシスコの Web サイトで提供しています。

https://securityhub.cisco.com/web/submit_urls

送信された URL のステータスを確認するには、このページの [送信した URL のステータス (Status on Submitted URLs)] タブをクリックします。また、URL 送信ツールを使用して、URL に割り当てられている URL カテゴリを検索できます。

URL カテゴリ データベース

URL が分類されるカテゴリは、フィルタリング カテゴリ データベースによって決定されます。Web Security Appliance は各 URL フィルタリング エンジンごとに情報を収集し、個別のデータベースに保持します。フィルタリング カテゴリ データベースは、Cisco アップデート サーバから定期的にアップデートを受信します。

URL カテゴリ データベースには、シスコ内部およびインターネットのさまざまなデータ要素とデータ ソースが格納されています。要素の 1 つであるオープン ディレクトリ プロジェクトからの情報は、時々検討されて当初のものから大幅に変更されます。



ヒント

特定の Web サイトが割り当てられているカテゴリを確認するには、[未分類の URL と誤分類された URL のレポート \(9-3 ページ\)](#) の URL に移動します。

関連項目

- [セキュリティ サービスのコンポーネントの手動による更新 \(22-34 ページ\)](#)

URL フィルタリング エンジンの設定

デフォルトでは、Cisco Web Usage Controls URL フィルタリング エンジンがシステム セットアップ ウィザードでイネーブルになります。

-
- 手順 1 [セキュリティ サービス (Security Services)] > [使用許可コントロール (Acceptable Use Controls)] を選択します。
- 手順 2 [グローバル設定を編集 (Edit Global Settings)] をクリックします。
- 手順 3 [使用許可コントロールを有効にする (Enable Acceptable Use Controls)] プロパティがイネーブルになっていることを確認します。
- 手順 4 動的コンテンツ分析エンジンをイネーブルにするかどうかを選択します。
- 手順 5 URL フィルタリング エンジンを利用できない場合に、Web プロキシが使用すべきデフォルトのアクション ([モニタ (Monitor)] または [ブロック (Block)]) を選択します。デフォルトは [モニタ (Monitor)] です。
- 手順 6 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。
-

URL カテゴリ セットの更新の管理

事前定義された URL カテゴリのセットは、新しい Web のトレンドと進化する使用パターンに合わせて時々更新されます。URL カテゴリ セットの更新は、新規 URL の追加や誤分類 URL の再マッピングによる変更とは異なります。カテゴリ セットの更新によって既存のポリシーの設定が変更されることがあるため、対処が必要になります。URL カテゴリ セットの更新は製品のリリース間で行われ、AsyncOS のアップグレードは必要ありません。

これらに関する情報は、以下の URL から入手できます：

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10164/prod_release_notes_list.html。

以下のアクションを実行します。

実行する時期	方法
更新が実行される前 (初期設定の一部としてこれらのタスクを実行します)	URL カテゴリ セットの更新による影響について (9-5 ページ) URL カテゴリ セットの更新の制御 (9-7 ページ) 新規および変更されたカテゴリのデフォルト設定 (9-8 ページ) カテゴリおよびポリシーの変更に関するアラートの受信 (9-9 ページ)
更新が実行された後	URL カテゴリ セットの更新に関するアラートへの応答 (9-9 ページ)

URL カテゴリ セットの更新による影響について

URL カテゴリ セットの更新は、既存のアクセス ポリシー、復号化ポリシー、シスコ データ セキュリティ ポリシー、および ID に以下のような影響を与えます。

- [URL カテゴリ セットの変更によるポリシー グループ メンバーシップへの影響 \(9-5 ページ\)](#)
- [URL カテゴリ セットの更新によるポリシーのフィルタリング アクションへの影響 \(9-5 ページ\)](#)

URL カテゴリ セットの変更によるポリシー グループ メンバーシップへの影響

この項の内容は、URL カテゴリによって定義できるメンバーシップを含んでいるすべてのポリシー タイプ、および ID に該当します。ポリシー グループ メンバーシップが URL カテゴリによって定義されている場合、カテゴリ セットへの変更は以下のような影響を及ぼす可能性があります。

- メンバーシップの唯一の条件であったカテゴリが削除された場合、ポリシーまたは ID はディセーブルになります。

ポリシーのメンバーシップを定義していた URL カテゴリが変更され、それに伴って ACL リストも変更された場合は、Web プロキシが再起動します。

URL カテゴリ セットの更新によるポリシーのフィルタリング アクションへの影響

URL カテゴリ セットの更新により、ポリシーの動作が以下のように変更される可能性があります。

変更内容 (Change)	ポリシーおよび ID への影響
新しいカテゴリが追加された場合	各ポリシーにおいて、新たに追加されたカテゴリのデフォルト アクションは、そのポリシーの [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] で指定されているアクションとなります。
カテゴリが削除された場合	<p>削除されたカテゴリに関連付けられていたアクションは削除されます。</p> <p>ポリシーが削除されたカテゴリにのみ依存していた場合、そのポリシーはディセーブルになります。</p> <p>ポリシーが依存している ID が削除されたカテゴリにのみ依存していた場合、そのポリシーはディセーブルになります。</p>
カテゴリの名前が変更された場合	既存のポリシーの動作に対する変更はありません。

変更内容(Change)	ポリシーおよび ID への影響
カテゴリが分割された場合	1つのカテゴリが複数の新規カテゴリとなることがあります。どちらの新規カテゴリにも、元のカテゴリに関連付けられていたアクションが含まれます。
複数の既存のカテゴリがマージされた場合	<p>ポリシーの元のカテゴリすべてに同じアクションが割り当てられていた場合、マージされたカテゴリには元のカテゴリと同じアクションが含まれます。元のカテゴリすべてが [グローバル設定を使用 (Use Global Setting)] に設定されていた場合、マージされたカテゴリも [グローバル設定を使用 (Use Global Setting)] に設定されます。</p> <p>ポリシーの元のカテゴリにさまざまなアクションが割り当てられていた場合、マージされたカテゴリに割り当てられるアクションは、そのポリシーの [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] の設定によって決まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] が [ブロック (Block)] (または [グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] (グローバル設定が [ブロック (Block)] の場合)) に設定されている場合は、元のカテゴリにおいて最も制限が厳しいアクションがマージされたカテゴリに適用されます。 • [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] が [ブロック (Block)] 以外 (または [グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] 以外 (グローバル設定が [ブロック (Block)] 以外の場合)) に設定されている場合は、元のカテゴリにおいて最も制限が緩いアクションがマージされたカテゴリに適用されます。 <p>この場合、以前ブロックされていたサイトにユーザがアクセスできるようになる可能性があります。</p> <p>ポリシー メンバーシップが URL カテゴリによって定義されており、マージに関連する一部のカテゴリまたは [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] のアクションがポリシー メンバーシップの定義に含まれていない場合は、欠落している項目に対してグローバル ポリシーの値が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 制限の厳しさの順位は次のとおりです (すべてのアクションをすべてのポリシー タイプで使用できるわけではありません)。ブロック (Block) • 削除 (Drop) • 復号化 (Decrypt) • 警告 (Warn) • 時間ベース (Time-based) • モニタ (Monitor) • パススルー (Pass Through) <p>(注) マージされたカテゴリに基づいている時間ベースのポリシーでは、元のカテゴリのいずれかに関連付けられているアクションが選択されます。(時間ベースのポリシーでは、制限が最も厳しいまたは最も緩いアクションが明確ではないことがあります)。</p>

関連項目

- [マージされたカテゴリ: 例 \(9-6 ページ\)](#)

マージされたカテゴリ: 例

以下の例は、ポリシーの [URL フィルタリング (URL Filtering)] ページの設定に基づいてマージされたカテゴリを示しています。

元のカテゴリ 1	元のカテゴリ 2	分類されていない URL	マージされたカテゴリ
モニタ (Monitor)	モニタ (Monitor)	(N/A)	モニタ (Monitor)
ブロック (Block)	ブロック (Block)	(N/A)	ブロック (Block)
グローバル設定を使用 (Use Global Settings)	グローバル設定を使用 (Use Global Settings)	(N/A)	グローバル設定を使用 (Use Global Settings)
警告 (Warn)	ブロック (Block)	モニタ (Monitor) 元のカテゴリにおいて最も制限が緩いアクションを使用。	警告 (Warn)
モニタ (Monitor)	<ul style="list-style-type: none"> ブロック (Block) または グローバル設定を使用 (Use Global Settings) (グローバルが [ブロック (Block)] に設定されている場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック (Block) または グローバル設定を使用 (Use Global Settings) (グローバルが [ブロック (Block)] に設定されている場合) 元のカテゴリにおいて最も制限が厳しいアクションを使用。	ブロック (Block)
ブロック (Block)	<ul style="list-style-type: none"> モニタ (Monitor) または グローバル設定を使用 (Use Global Settings) (グローバルが [モニタ (Monitor)] に設定されている場合) 	<ul style="list-style-type: none"> モニタ (Monitor) または グローバル設定を使用 (Use Global Settings) (グローバルが [モニタ (Monitor)] に設定されている場合) 元のカテゴリにおいて最も制限が緩いアクションを使用。	モニタ (Monitor)
メンバーシップが URL カテゴリによって定義されているポリシーの場合: モニタ (Monitor)	カテゴリのアクションがポリシーで指定されておらず、カテゴリのグローバルポリシーの値が [ブロック (Block)]。	未分類の URL のアクションがポリシーで指定されておらず、未分類の URL のグローバルポリシーの値が [モニタ (Monitor)]。	モニタ (Monitor)

URL カテゴリ セットの更新の制御

デフォルトでは、URL カテゴリ セットの更新は自動的に行われます。ただし、これらの更新によって既存のポリシー設定が変更される可能性があるため、すべての自動更新をディセーブルにすることを推奨します。

オプション	方法
更新をディセーブルにした場合は、[システム管理 (System Administration)] > [アップグレードとアップデートの設定 (Upgrade and Update Settings)] ページの [アップデートサーバ(リスト) (Update Servers (list))] セクションに記載されているすべてのサービスを手動で更新する必要があります。	手動による URL カテゴリ セットの更新 (9-8 ページ) および セキュリティ サービスのコンポーネントの手動による更新 (22-34 ページ)
すべての自動更新をディセーブルにする。	アップグレードおよびサービス アップデートの設定の変更 (22-37 ページ)。



(注) CLI を使用する場合は、更新間隔をゼロ (0) に設定して更新をディセーブルにします。

手動による URL カテゴリ セットの更新



(注) 進行中の更新を中断しないでください。

自動更新をディセーブルにした場合は、必要に応じて手動で URL カテゴリ セットを更新できます。

- 手順 1 [セキュリティ サービス (Security Services)] > [使用許可コントロール (Acceptable Use Controls)] を選択します。
- 手順 2 アップデートが利用可能かどうかを確認します。
[使用許可コントロール エンジンの更新 (Acceptable Use Controls Engine Updates)] テーブルの [Cisco Web 利用の制御 - Web カテゴリのカテゴリ リスト (Cisco Web Usage Controls - Web Categorization Categories List)] を参照してください。
- 手順 3 更新するには、[今すぐ更新 (Update Now)] をクリックします。

新規および変更されたカテゴリのデフォルト設定

URL カテゴリ セットの更新によって、既存のポリシーの動作が変更されることがあります。URL カテゴリ セットが更新されたときに対応できるように、ポリシーを設定する際は、特定の変更に對してデフォルトの設定を指定しておく必要があります。新しいカテゴリが追加された場合や既存のカテゴリが新しいカテゴリにマージされた場合、それらのカテゴリに対する各ポリシーのデフォルトアクションは、そのポリシーの [分類されていない URL (Uncategorized URLs)] 設定に左右されます。

既存の設定の確認または変更の実行

-
- 手順 1 [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] を選択します。
 - 手順 2 各アクセス ポリシー、復号化ポリシー、シスコ データ セキュリティ ポリシーに対して、[URL フィルタリング (URL Filtering)] リンクをクリックします。
 - 手順 3 [分類されていない URL (Uncategorized URLs)] に対して選択されている設定を確認します。
-

関連項目

- [「URL カテゴリ セットの変更によるポリシー グループ メンバーシップへの影響」セクション\(9-5 ページ\)](#)

カテゴリおよびポリシーの変更に関するアラートの受信

カテゴリ セットの更新によって、以下の 2 種類のアラートがトリガーされます。

- カテゴリの変更についてのアラート
- カテゴリ セットの変更によって変更またはディセーブル化されたポリシーに関するアラート

-
- 手順 1 [システム管理 (System Administration)] > [アラート (Alerts)] を選択します。
 - 手順 2 [受信者の追加 (Add Recipient)] をクリックして電子メール アドレス (または、複数の電子メール アドレス) を追加します。
 - 手順 3 受信するアラートの [アラート タイプ (Alert Types)] と [アラートの重大度 (Alert Severities)] を決定します。
 - 手順 4 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。
-

URL カテゴリ セットの更新に関するアラートへの応答

カテゴリ セットの変更に関するアラートを受信した場合は、以下を実行する必要があります。

- カテゴリがマージ、追加、削除された後でもポリシーと ID が引き続きポリシーの目標を満たしていることを確認し、
- 分割されたカテゴリに追加された事項や新規カテゴリを活用するために、ポリシーと ID を変更することを検討します。

関連項目

- [URL カテゴリ セットの更新による影響について\(9-5 ページ\)](#)

URL カテゴリによるトランザクションのフィルタリング

URL フィルタリング エンジンを使用して、アクセス ポリシー、復号化ポリシー、データ セキュリティ ポリシーのトランザクションをフィルタリングできます。ポリシー グループの URL カテゴリを設定する際は、カスタム URL カテゴリ (定義されている場合) と定義済み URL カテゴリのアクションを設定できます。

設定できる URL フィルタリング アクションは、ポリシー グループのタイプに応じて異なります。

オプション	方法
アクセス ポリシー (Access Policies)	アクセス ポリシー グループの URL フィルタの設定 (9-10 ページ)
復号化ポリシー (Decryption Policies)	復号化ポリシー グループの URL フィルタの設定 (9-13 ページ)
シスコ データ セキュリティ ポリシー (Cisco Data Security Policies)	データ セキュリティ ポリシー グループの URL フィルタの設定 (9-14 ページ)

関連項目

- [アクセス ポリシーでのトラフィックのリダイレクト \(9-23 ページ\)](#)。
- [ユーザへの警告と続行の許可 \(9-24 ページ\)](#)
- [カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 \(9-16 ページ\)](#)
- [URL カテゴリ セットの更新によるポリシーのフィルタリング アクションへの影響 \(9-5 ページ\)](#)

アクセス ポリシー グループの URL フィルタの設定

ユーザ定義のアクセス ポリシー グループおよびグローバル ポリシー グループに対して URL フィルタリングを設定できます。

- 手順 1 [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] を選択します。
- 手順 2 ポリシー テーブルで、編集するポリシー グループの [URL フィルタ (URL Filtering)] 列にあるリンクをクリックします。
- 手順 3 (任意)[カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、アクションを実行するカスタム URL カテゴリをポリシーに追加できます。
 - a. [カスタム カテゴリの選択 (Select Custom Categories)] をクリックします。
 - b. このポリシーに含めるカスタム URL カテゴリを選択して、[適用 (Apply)] をクリックします。

URL フィルタリング エンジンでクライアント要求と照合するカスタム URL カテゴリを選択します。URL フィルタリング エンジンは、クライアント要求と含まれているカスタム URL カテゴリを比較します。除外されたカスタム URL カテゴリは無視されます。URL フィルタリング エンジンは、定義済みの URL カテゴリよりも前に、含まれているカスタム URL カテゴリとクライアント要求の URL を比較します。

ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリは、[カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションに表示されます。

手順 4 [カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、含まれている各カスタム URL カテゴリのアクションを選択します。

操作	説明
グローバル設定を使用 (Use Global Settings)	<p>グローバル ポリシー グループで設定されているこのカテゴリ用のアクションを使用します。これは、ユーザ定義のポリシー グループのデフォルト アクションです。</p> <p>ユーザ定義のポリシー グループにのみ適用されます。</p> <p>(注) カスタム URL カテゴリがグローバル アクセス ポリシーから除外されている場合、ユーザ定義のアクセス ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリのデフォルト アクションは、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] ではなく、[モニタ (Monitor)] になります。カスタム URL カテゴリがグローバル アクセス ポリシーで除外されている場合は、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] を選択できません。</p>
ブロック (Block)	Web プロキシは、この設定に一致するトランザクションを拒否します。
リダイレクト	最初の宛先がこのカテゴリの URL であるトラフィックを、指定された場所へリダイレクトします。このアクションを選択すると、[リダイレクト先 (Redirect To)] フィールドが表示されます。すべてのトラフィックをリダイレクトする URL を入力します。
許可 (Allow)	<p>このカテゴリの Web サイトに対するクライアント要求を常に許可します。</p> <p>許可された要求は、以降のすべてのフィルタリングとマルウェア スキャンをバイパスします。</p> <p>信頼できる Web サイトに対してのみこの設定を使用します。この設定は、内部サイトに対して使用することができます。</p>
モニタ (Monitor)	Web プロキシは、要求を許可せず、ブロックもしません。代わりに、他のポリシー グループ制御設定 (Web レピュテーション フィルタリングなど) と照合して、クライアント要求の評価を続行します。
警告 (Warn)	当初、Web プロキシは要求をブロックして警告ページを表示しますが、ユーザは警告ページのハイパーテキスト リンクをクリックすることで続行できます。
クォータベース (Quota-Based)	個々のユーザが、指定されたボリュームまたは時間クォータに達すると、警告が表示されます。クォータに達すると、ブロック ページが表示されます。 時間範囲およびクォータ (10-20 ページ) を参照してください。
時間ベース (Time-Based)	Web プロキシは、指定された時間範囲内で要求をブロックまたはモニタします。 時間範囲およびクォータ (10-20 ページ) を参照してください。

手順 5 [事前定義された URL カテゴリのフィルタリング (Predefined URL Category Filtering)] セクションで、各カテゴリに対して以下のいずれかのアクションを選択します。

- グローバル設定を使用 (Use Global Settings)
- モニタ (Monitor)
- 警告 (Warn)
- ブロック (Block)
- 時間ベース (Time-Based)

- クォータベース (Quota-Based)
- 手順 6 [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] セクションで、定義済みまたはカスタムの URL カテゴリに分類されない Web サイトへのクライアント要求に対して実行するアクションを選択します。この設定によって、URL カテゴリ セットの更新により生じた新規カテゴリとマージカテゴリのデフォルトアクションも決まります。
- 手順 7 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。

- [埋め込み/参照コンテンツのブロックの例外 \(9-12 ページ\)](#)

埋め込み/参照コンテンツのブロックの例外

Web サイトでは、ソース ページとは分類が異なるコンテンツまたはアプリケーションと見なされるコンテンツを組み込んだり、参照することができます。デフォルトでは、ソース Web サイトの分類に関係なく、埋め込み/参照コンテンツは割り当てられたカテゴリまたはアプリケーションに選択したアクションに基づいてブロックまたはモニタされます。たとえば、ストリーミングビデオとして分類され、YouTube アプリケーションとして識別されるコンテンツまたはコンテンツへのリンクをニュースサイトに含めることができます。ポリシーに従って、ストリーミングビデオと YouTube は両方ともブロックされますが、ニュースサイトはブロックされません。



(注) 埋め込みコンテンツに対する要求には、通常、要求が発信されるサイトのアドレスが含まれます (要求の HTTP ヘッダーの「`referer`」フィールドとして知られています)。このヘッダー情報は、ブロックされるカテゴリを除外するために使用されます。

この機能を使用して、埋め込み/参照コンテンツのデフォルトアクションに対する例外を定義できます。たとえば、ニュース Web サイトまたはイントラネットを表すカスタム カテゴリのすべての埋め込み/参照コンテンツを許可することができます。



(注) Referer ベースの例外は、アクセス ポリシーでのみサポートされます。HTTPS トラフィックでこの機能を使用するには、アクセス ポリシーで例外を定義する前に、例外用に選択する URL カテゴリの HTTPS 復号化を設定する必要があります。HTTPS 復号化の設定については、[復号化ポリシー グループの URL フィルタの設定 \(9-13 ページ\)](#) を参照してください。この機能と HTTPS 復号化の使用に関する詳細については、[埋め込み/参照コンテンツのブロックの例外に対する条件および制約事項 \(A-10 ページ\)](#) を参照してください。

- 手順 1 特定のアクセス ポリシーの [URL フィルタリング (URL Filtering)] ページ ([アクセス ポリシー グループの URL フィルタの設定 \(9-10 ページ\)](#)) を参照で、[埋め込み/参照コンテンツのブロックの例外 (Exceptions to Blocking for Embedded/Referred Content)] セクションの [Referer の例外の有効化 (Enable Referer Exceptions)] をクリックします。
- 手順 2 [これらのカテゴリごとに参照コンテンツの例外を設定 (Set Exception for Content Referred by These Categories)] 列の [クリックしてカテゴリを選択 (Click to select categories)] リンクをクリックして、URL フィルタリング カテゴリの参照の例外の選択ページを開きます。
- 手順 3 [定義済みおよびカスタム URL カテゴリ (Predefined and Custom URL Categories)] リストから、この参照の例外を定義するカテゴリを選択し、[完了 (Done)] をクリックしてこのアクセス ポリシーの [URL フィルタリング (URL Filtering)] ページに戻ります。

- 手順 4** [この参照コンテンツの例外を設定 (Set Exception for this Referred Content)] ドロップダウン リストから例外のタイプを選択します。
- [すべての埋め込み/参照コンテンツ (All embedded/referred content)]: コンテンツのカテゴリに関係なく、指定したカテゴリ タイプのサイトの埋め込み/参照コンテンツは一切ブロックされません。
 - [選択した埋め込み/参照コンテンツ (Selected embedded/referred content)]: このオプションを選択した後、指定した URL カテゴリから発信された場合にはブロックしないカテゴリとアプリケーションを選択します。
 - [すべての埋め込み/参照コンテンツの例外 (All embedded/referred content except)]: このオプションを選択すると、ここで指定した URL カテゴリとアプリケーションを除き、指定したカテゴリ タイプのサイトの埋め込み/参照コンテンツは一切ブロックされません。つまり、ここで指定するタイプはブロックされたままになります。
- 手順 5** 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。



ヒント

[レポート (Reporting)] ページ ([URL カテゴリ (URL Categories)], [ユーザ (Users)], および [Web サイト (Web Sites)]) や [概要 (Overview)] ページの関連チャートに表示される表およびチャートに、「Referrer によって許可される」トランザクション データを表示するように選択できます。チャート表示オプションの選択の詳細については、[チャート化するデータの選択 \(18-4 ページ\)](#) を参照してください。

復号化ポリシー グループの URL フィルタの設定

ユーザ定義の復号化ポリシー グループおよびグローバル復号化ポリシー グループに対して URL フィルタリングを設定できます。

- 手順 1** [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [復号化ポリシー (Decryption Policies)] を選択します。
- 手順 2** ポリシー テーブルで、編集するポリシー グループの [URL フィルタリング (URL Filtering)] 列にあるリンクをクリックします。
- 手順 3** (任意) [カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、アクションを実行するカスタム URL カテゴリをポリシーに追加できます。
- a. [カスタム カテゴリの選択 (Select Custom Categories)] をクリックします。
 - b. このポリシーに含めるカスタム URL カテゴリを選択して、[適用 (Apply)] をクリックします。
URL フィルタリング エンジンでクライアント要求と照合するカスタム URL カテゴリを選択します。URL フィルタリング エンジンでは、クライアント要求と含まれているカスタム URL カテゴリを比較します。除外されたカスタム URL カテゴリは無視されます。URL フィルタリング エンジンでは、定義済みの URL カテゴリよりも前に、含まれているカスタム URL カテゴリとクライアント要求の URL を比較します。
ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリは、[カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションに表示されます。

手順 4 カスタムおよび定義済みの各 URL カテゴリのアクションを選択します。

操作	説明
グローバル設定を使用 (Use Global Setting)	グローバル復号化グループで設定されているこのカテゴリ用のアクションを使用します。これは、ユーザ定義のポリシー グループのデフォルト アクションです。 ユーザ定義のポリシー グループにのみ適用されます。 カスタム URL カテゴリがグローバル復号化ポリシーから除外されている場合、ユーザ定義の復号化ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリのデフォルト アクションは、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] でなく、[モニタ (Monitor)] になります。カスタム URL カテゴリがグローバル復号化ポリシーから除外されている場合は、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] を選択できません。
パススルー (Pass Through)	トラフィック コンテンツを検査せずにクライアントとサーバ間の接続をパススルーします。
モニタ (Monitor)	Web プロキシは、要求を許可せず、ブロックもしません。代わりに、他のポリシー グループ制御設定 (Web レピュテーション フィルタリングなど) と照合して、クライアント要求の評価を続行します。
復号化 (Decrypt)	接続を許可しますが、トラフィック コンテンツを検査します。アプライアンスはトラフィックを復号化し、プレーンテキスト HTTP 接続であるかのように、復号化したトラフィックにアクセス ポリシーを適用します。接続を復号化し、アクセス ポリシーを適用することにより、トラフィックをスキャンしてマルウェアを検出できます。
削除 (Drop)	接続をドロップし、サーバに接続要求を渡しません。アプライアンスは接続をドロップしたことをユーザに通知しません。



(注) HTTPS 要求の特定の URL カテゴリをブロックする場合は、復号化ポリシー グループのその URL カテゴリを復号化することを選択してから、アクセス ポリシー グループの同じ URL カテゴリをブロックすることを選択します。

手順 5 [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] セクションで、定義済みまたはカスタムの URL カテゴリに分類されない Web サイトへのクライアント要求に対して実行するアクションを選択します。

この設定によって、URL カテゴリ セットの更新により生じた新規カテゴリとマージ カテゴリのデフォルト アクションも決まります。

手順 6 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。

データ セキュリティ ポリシー グループの URL フィルタの設定

ユーザ定義のデータ セキュリティ ポリシー グループおよびグローバル ポリシー グループに対して URL フィルタリングを設定できます。

- 手順 1** [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [シスコ データ セキュリティ (Cisco Data Security)] を選択します。
- 手順 2** ポリシー テーブルで、編集するポリシー グループの [URL フィルタ (URL Filtering)] 列にあるリンクをクリックします。
- 手順 3** (任意)[カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、アクションを実行するカスタム URL カテゴリをポリシーに追加できます。
- a. [カスタム カテゴリの選択 (Select Custom Categories)] をクリックします。
 - b. このポリシーに含めるカスタム URL カテゴリを選択して、[適用 (Apply)] をクリックします。
URL フィルタリング エンジンでクライアント要求と照合するカスタム URL カテゴリを選択します。URL フィルタリング エンジンは、クライアント要求と含まれているカスタム URL カテゴリを比較します。除外されたカスタム URL カテゴリは無視されます。URL フィルタリング エンジンは、定義済みの URL カテゴリよりも前に、含まれているカスタム URL カテゴリとクライアント要求の URL を比較します。
ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリは、[カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションに表示されます。
- 手順 4** [カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、各カスタム URL カテゴリのアクションを選択します。

操作	説明
グローバル設定を使用 (Use Global Setting)	グローバル ポリシー グループで設定されているこのカテゴリ用のアクションを使用します。これは、ユーザ定義のポリシー グループのデフォルトアクションです。 ユーザ定義のポリシー グループにのみ適用されます。 カスタム URL カテゴリがグローバルなシスコ データセキュリティ ポリシーから除外されている場合、ユーザ定義のシスコ データセキュリティ ポリシーに含まれているカスタム URL カテゴリのデフォルトアクションは、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] でなく、[モニタ (Monitor)] になります。カスタム URL カテゴリがグローバルなシスコ データセキュリティ ポリシーから除外されている場合は、[グローバル設定を使用 (Use Global Settings)] を選択できません。
許可 (Allow)	このカテゴリの Web サイトに対してアップロード要求を常に許可します。カスタム URL カテゴリにのみ適用されます 許可された要求は以降のすべてのデータセキュリティ スキャンをバイパスし、要求はアクセス ポリシーに対して評価されます。 信頼できる Web サイトに対してのみこの設定を使用します。この設定は、内部サイトに対して使用することができます。
モニタ (Monitor)	Web プロキシは、要求を許可せず、ブロックもしません。代わりに、他のポリシー グループ制御設定 (Web レピュテーション フィルタリングなど) と照合して、アップロード要求の評価を続行します。
ブロック (Block)	Web プロキシは、この設定に一致するトランザクションを拒否します。

- 手順 5 [事前定義された URL カテゴリのフィルタリング (Predefined URL Category Filtering)] セクションで、各カテゴリに対して以下のいずれかのアクションを選択します。
- グローバル設定を使用 (Use Global Settings)
 - モニタ (Monitor)
 - ブロック (Block)
- 手順 6 [分類されてない URL (Uncategorized URLs)] セクションで、定義済みまたはカスタムの URL カテゴリに分類されない Web サイトへのアップロード要求に対して実行するアクションを選択します。この設定によって、URL カテゴリ セットの更新により生じた新規カテゴリとマージカテゴリのデフォルトアクションも決まります。
- 手順 7 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。

関連項目

- [URL カテゴリ セットの更新によるポリシーのフィルタリングアクションへの影響 \(9-5 ページ\)](#)

カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集

特定のホスト名と IP アドレスを指定する、カスタムおよび外部のライブフィード URL カテゴリを作成できます。また、既存の URL カテゴリを編集したり削除することができます。これらのカスタム URL カテゴリを同じアクセス ポリシー グループ、復号化ポリシー グループ、またはシスコ データセキュリティ ポリシー グループに含めて、各カテゴリに異なるアクションを割り当てると、より上位のカスタム URL カテゴリのアクションが優先されます。



(注) これらの URL カテゴリ定義で使用できる外部ライブフィードは最大 5 つです。また、各ファイルに格納できるエントリ数は最大 1000 に制限されています。外部フィードエントリの数を増やすと、パフォーマンスの低下につながります。



(注) Web Security Appliance では、先頭に文字「c_」が付加されたカスタム URL カテゴリ名の最初の 4 文字が、アクセス ログで使用されます。Sawmill を使用してアクセス ログを解析する場合は、カスタム URL カテゴリの名前に注意してください。カスタム URL カテゴリの最初の 4 文字にスペースが含まれていると、Sawmill はアクセス ログ エントリを正しく解析できません。代わりに、最初の 4 文字にはサポートされる文字のみを使用します。カスタム URL カテゴリの完全な名前をアクセス ログに記録する場合は、%XF フォーマット指定子をアクセス ログに追加します。

はじめる前に

- [セキュリティ サービス (Security Services)] > [使用許可コントロール (Acceptable Use Controls)] に移動し、使用許可コントロールをイネーブルにします。

- 手順 1 [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [カスタムおよび外部 URL カテゴリ (Custom and External URL Categories)] を選択します。
- 手順 2 カスタム URL カテゴリを作成するには、[カテゴリの追加 (Add Category)] をクリックします。既存のカスタム URL カテゴリを編集するには、URL カテゴリの名前をクリックします。
- 手順 3 次の情報を入力します。

設定	説明
カテゴリ名 (Category Name)	この URL カテゴリの識別子を入力します。この名前は、ポリシー グループに URL フィルタリングを設定するときに表示されます。
リスト順(List Order)	カスタム URL カテゴリのリストで、このカテゴリの順序を指定します。リスト内の最初の URL カテゴリに「1」を入力します。 URL フィルタリング エンジンでは、指定した順序でカスタム URL カテゴリに対してクライアント要求が評価されます。
カテゴリ タイプ (Category Type)	[ローカル カスタム カテゴリ (Local Custom Category)] または [外部ライブフィード カテゴリ (External Live Feed Category)] を選択します。
着信サービス一覧 (Routing Table)	[管理 (Management)] または [データ (Data)] を選択します。この選択は、「分割ルーティング」が有効にされている場合にのみ行うことができます。つまり、ローカル カスタム カテゴリでは選択できません。分割ルーティングの有効化については、 ネットワーク インターフェイスのイネーブル化または変更(2-22 ページ) を参照してください。

設定	説明
サイト/フィードファイルの場所 (Sites / Feed File Location)	<p>[カテゴリ タイプ (Category Type)] として [ローカル カスタム カテゴリ (Local Custom Category)] を選択した場合は、カスタムの [サイト (Sites)] を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このカスタム カテゴリのサイト アドレスを 1 つまたは複数入力します。複数のアドレスは、改行またはカンマで区切って入力します。これらのアドレスの形式は、次のいずれかにします。 <ul style="list-style-type: none"> – IPv4 アドレス。10.1.1.0 など – IPv6 アドレス。2001:0db8:: など – IPv4 CIDR アドレス。10.1.1.0/24 など – IPv6 CIDR アドレス。2001:0db8::/32 など – ドメイン名。example.com など – ホスト名。crm.example.com など – ホスト名の一部。example.com など。これは www.example.com と一致します。 – 正規表現は、次に示すように [詳細設定 (Advanced)] セクションで入力できます。 <p>(注) 複数のカスタム URL カテゴリで同じアドレスを使用することは可能ですが、カテゴリがリストされる順序は相互関係によります。同じポリシーにこれらのカテゴリを含めて、それぞれに異なるアクションを定義する場合、カスタム URL カテゴリ テーブルの 1 番上にリストされるカテゴリに定義されたアクションが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (任意)、[URL のソート (Sort URLs)] をクリックして、[サイト (Sites)] フィールド内のすべてのアドレスをソートします。 <p>(注) アドレスをソートした後は、元の順序に戻すことができません。</p> <p>[カテゴリ タイプ (Category Type)] として [外部ライブフィードカテゴリ (External Live Feed Category)] を選択した場合は、[フィードファイルの場所 (Feed File Location)] 情報を入力します。つまり、このカスタム カテゴリのアドレスを含むファイルを探してダウンロードします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [シスコのフィード形式 (Cisco Feed Format)] または [Office 365 のフィード形式 (Office 365 Feed Format)] を選択してから、適切なフィードファイルの情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [シスコのフィード形式 (Cisco Feed Format)]: <ul style="list-style-type: none"> – 使用するトランスポート プロトコル (HTTPS または HTTP) を選択してから、ライブフィードファイルの URL を入力します。このファイルはカンマ区切り値 (.csv) 形式のファイルでなければなりません。このファイルの詳細については、外部フィードファイル形式 (9-20 ページ) を参照してください。 – 必要に応じて、[詳細設定 (Advanced)] セクションの [認証 (Authentication)] にクレデンシャルを入力します。指定したフィードサーバに接続するために使用するユーザ名とパスワードを入力します。

設定	説明
フィードの場所 (Feed Location) (続き)	<ul style="list-style-type: none"> • [Office 365 のフィード形式(Office 365 Feed Format)]: <ul style="list-style-type: none"> – [Office 365 フィードの場所(Office 365 Feed Location)] に、ライブフィードファイルの場所(URL)を入力します。 <p>このファイルは、XML ファイル形式でなければなりません。このファイルの詳細については、外部フィードファイル形式(9-20 ページ)を参照してください。</p> 2. [ファイルの取得(Get File)] をクリックして、フィードサーバとの接続をテストし、フィード ファイルを解析してサーバからダウンロードします。 <p>[ファイルの取得(Get File)] ボタンの下にあるテキスト ボックスに、進捗状況が表示されます。エラーが発生した場合は、その問題が示されるので、問題を修正してから再試行します。発生する可能性のあるエラーについては、外部ライブフィードファイルのダウンロードに関する問題(A-14 ページ)を参照してください。</p> <p>ヒント ライブフィードカテゴリの変更を保存した後、[カスタムおよび外部 URL カテゴリ (Custom and External URL Categories)] ページ ([Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [カスタムおよび外部 URL カテゴリ (Custom and External URL Categories)]) で、このエントリに対応する [フィードコンテンツ (Feed Content)] 列の [表示 (View)] をクリックすると、ウィンドウが開き、ダウンロードした [シスコフィード形式 (Cisco Feed Format)] または [Office 365 フィード形式 (Office 365 Feed Format)] のフィードファイルに含まれているアドレスが表示されます。</p>
詳細設定 (Advanced)	<p>[カテゴリ タイプ (Category Type)] に [ローカル カスタム カテゴリ (Local Custom Category)] を選択した場合、このセクションに、追加のアドレスセットを指定する正規表現を入力できます。</p> <p>正規表現を使用して、入力したパターンと一致する複数のアドレスを指定できます。</p> <p>(注) URL フィルタリング エンジンでは、まず [サイト (Sites)] フィールドに入力したアドレスと URL が比較されます。トランザクションの URL が [サイト (Sites)] フィールドの入力値と一致した場合は、ここで入力した式との比較は行われません。</p> <p>正規表現の使用方法については、正規表現(9-27 ページ)を参照してください。</p>
フィードの自動更新 (Auto Update the Feed)	<p>フィードの更新オプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動更新しない (Do not auto update)] • [n HH:MM 間隔 (Every n HH:MM)]: たとえば、5 分間隔の場合は 00:05 と入力します。ただし、頻繁に更新すると WSA のパフォーマンスに影響することに注意してください。 <p>(注) 使用可能なフィードファイルが現在ダウンロードしたファイルとは異なる場合、新しいファイルがダウンロードされて、ダウンロード時間が更新されます。そうでない場合、ファイルは取得されず、「304 not modified」エントリがログに記録されます。</p>

手順 4 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。

関連項目

- [カスタムおよび外部 URL カテゴリのアドレス形式とフィードファイル形式\(9-20 ページ\)](#)
- [正規表現\(9-27 ページ\)](#)
- [アクセス ログのカスタマイズ\(21-32 ページ\)](#)
- [カスタム URL カテゴリおよび外部 URL カテゴリに関する問題\(A-14 ページ\)](#)

カスタムおよび外部 URL カテゴリのアドレス形式とフィードファイル形式

[カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集\(9-16 ページ\)](#) を実行する際は、1 つ以上のネットワーク アドレスを指定する必要があります。ローカル カスタム カテゴリのアドレスを指定するか、または外部ライブフィード カテゴリ フィードファイルで指定します。各インスタンスでは、複数のアドレスを改行またはカンマで区切って入力することがあります。これらのアドレスの形式は、次のいずれかにします。

- IPv4 アドレス。10.1.1.0 など
- IPv6 アドレス。2001:0db8:: など
- IPv4 CIDR アドレス。10.1.1.0/24 など
- IPv6 CIDR アドレス。2001:0db8::/32 など
- ドメイン名。example.com など
- ホスト名。crm.example.com など
- ホスト名の一部。example.com など。これは www.example.com と一致します。
- 特定のパターンと一致する複数のアドレスを指定する正規表現(正規表現の仕様の詳細については、[正規表現\(9-27 ページ\)](#)を参照)

(注) 複数のカスタム URL カテゴリで同じアドレスを使用することは可能ですが、カテゴリがリストされる順序は相互関係によります。同じポリシーにこれらのカテゴリを含めて、それぞれに異なるアクションを定義する場合、カスタム URL カテゴリ テーブルの 1 番上にリストされるカテゴリに定義されたアクションが適用されます。

関連項目

- [外部フィードファイル形式\(9-20 ページ\)](#)

外部フィードファイル形式

[カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集\(9-16 ページ\)](#) を実行するときに、[カテゴリ タイプ(Category Type)] として [外部ライブフィード カテゴリ (External Live Feed Category)] を選択する場合は、フィード形式([シスコ フィード形式(Cisco Feed Format)] または [Office 365 フィード形式(Office 365 Feed Format)]) を選択して、該当するフィードファイル サーバの URL を指定する必要があります。

フィード ファイルごとに予測される形式は、次のとおりです。

- シスコ フィード形式(Cisco Feed Format): カンマ区切り値(.csv) ファイル(.csv 拡張子が付いたテキスト ファイル) を指定する必要があります。csv ファイルの各エントリーは、アドレス /カンマ/アドレスタイプの形式で、個別の行に記述する必要があります(www.cisco.com, site や ad2.*\ .com, regex など)。有効なアドレスタイプは site と regex です。次に、シスコ フィード形式の .csv ファイルの一部を示します。

```
www.cisco.com,site
\.xyz,regex
ad2.*\.com,regex
www.trafficholder.com,site
2000:1:1:11:1:1::200,site
```



(注) ファイル内の site エントリの一部として http:// または https:// を含まないでください。エラーが発生します。つまり、www.example.com は正しく解析されますが、http://www.example.com ではエラーが発生します。

- Office 365 フィード形式 (Office 365 Feed Format) : Microsoft Office 365 サーバまたはファイル保存先のローカルサーバ上にある XML ファイルです。Office 365 サービスが提供するもので、変更することはできません。ファイル内のネットワークアドレスは、products > product > addresslist > address の構造に従う XML タグで囲まれます。現在の実装では addresslist 型には IPv6、IPv4、または URL (ドメインや正規表現を含むことも可) を指定できます。次に、Office 365 フィード ファイルのスニペットを示します。

```
<products updated="4/15/2016">
  <product name="o365">
    <addresslist type="IPv6">
      <address>2603:1040:401::d:80</address>
      <address>2603:1040:401::a</address>
      <address>2603:1040:401::9</address>
    </addresslist>
    <addresslist type="IPv4">
      <address>13.71.145.72</address>
      <address>13.71.148.74</address>
      <address>13.71.145.114</address>
    </addresslist>
    <addresslist type="URL">
      <address>*.aadrm.com</address>
      <address>*.azurerms.com</address>
      <address>*.cloudapp.net2</address>
    </addresslist>
  </product>
  <product name="LYO">
    <addresslist type="URL">
      <address>*.broadcast.skype.com</address>
      <address>*.Lync.com</address>
    </addresslist>
  </product>
</products>
```

アダルト コンテンツのフィルタリング

一部の Web 検索や Web サイトからアダルト コンテンツをフィルタリングするように、Web Security Appliance を設定できます。AVC エンジンには、URL や Web クッキーを書き換えてセーフモードを有効化することで、特定の Web サイトに実装されているセーフモード機能を利用し、セーフサーチやサイト コンテンツ レーティングを適用します。

以下の機能によってアダルトコンテンツをフィルタリングします。

オプション	説明
セーフサーチの適用 (Enforce safe searches)	発信する検索要求がセーフサーチ要求として検索エンジンに表示されるように、Web Security Appliance を設定することができます。これによって、ユーザが検索エンジンを使用して使用許可ポリシーを回避してしまうことを防止できます。
サイトコンテンツレーティングの適用 (Enforce site content ratings)	一部のコンテンツ共有サイトでは、独自のセーフサーチ機能を適用するか、アダルトコンテンツへのアクセスをブロックするか、または両方を実行することによって、サイトのアダルトコンテンツへのユーザによるアクセスを制限しています。この分類機能は、一般的にコンテンツレーティングと呼ばれています。



(注)

セーフサーチ機能またはサイトコンテンツレーティング機能を備えたアクセスポリシーはすべて、安全なブラウジングアクセスポリシーと見なされます。

セーフサーチおよびサイトコンテンツレーティングの適用

始める前に:

セーフサーチおよびサイトコンテンツレーティングを有効にすると、安全に参照するために、AVC エンジンがアプリケーションを識別する役割を果たすようになります。条件の1つとして、AVC エンジンは応答本文をスキャンし、検索アプリケーションを検出します。その結果、アプリケーションは範囲ヘッダーを転送しません。

- 手順 1 [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] を選択します。
- 手順 2 [URL フィルタリング (URL Filtering)] 列にある、アクセス ポリシー グループまたはグローバル ポリシー グループのリンクをクリックします。
- 手順 3 ユーザ定義のアクセス ポリシーを編集する場合、[コンテンツ フィルタ (Content Filtering)] セクションの [コンテンツ フィルタ カスタム設定を定義 (Define Content Filtering Custom Settings)] を選択します。
- 手順 4 [セーフサーチを有効にする (Enable Safe Search)] チェックボックスをオンにして、セーフサーチ機能をイネーブルにします。
- 手順 5 Web Security Appliance のセーフサーチ機能で現在サポートされていない検索エンジンからユーザをブロックするかどうかを選択します。
- 手順 6 [サイトコンテンツ評価を有効にする (Enable Site Content Rating)] チェックボックスをオンにして、サイトコンテンツレーティング機能をイネーブルにします。
- 手順 7 サポートされるコンテンツレーティング Web サイトからのアダルトコンテンツをすべてブロックするか、エンドユーザ URL フィルタリング警告ページを表示するかを選択します。



(注)

サポートされているいずれかの検索エンジンまたはコンテンツレーティング Web サイトの URL が、[許可 (Allow)] アクションが適用されているカスタム URL カテゴリに含まれている場合、検索結果はブロックされず、すべてのコンテンツが表示されます。

- 手順 8 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。

関連項目

- [ユーザへの警告と続行の許可\(9-24 ページ\)](#)

アダルト コンテンツ アクセスのロギング

デフォルトでは、アクセス ログには安全なブラウジング スキャンの判定が含まれており、判定は各エントリの山カッコ内に記載されています。安全なブラウジング スキャンの判定は、セーフサーチまたはサイト コンテンツ レーティング機能がトランザクションに適用されているかどうかを示します。安全なブラウジング スキャンの判定変数をアクセス ログや W3C アクセス ログに追加することもできます。

- アクセス ログ:%XS
- W3C アクセス ログ:x-request-rewrite

値	説明
ensrch	元のクライアント要求が安全でなく、セーフサーチ機能が適用されました。
encrt	元のクライアント要求が安全でなく、サイト コンテンツ レーティング機能が適用されました。
unsupp	元のクライアント要求がサポートされていない検索エンジン向けでした。
err	元のクライアント要求は安全ではありませんが、エラーのためにセーフサーチ機能もサイト コンテンツ レーティング機能も適用されませんでした。
-	機能がバイパスされたため(トランザクションがカスタム URL カテゴリで許可された場合など)、またはサポートされていないアプリケーションで要求が実行されたため、セーフサーチ機能もサイト コンテンツ レーティング機能もクライアント要求に適用されませんでした。

セーフサーチまたはサイト コンテンツ レーティング機能によってブロックされた要求には、アクセス ログで以下のいずれかの ACL デシジョン タグが使用されます。

- BLOCK_SEARCH_UNSAFE
- BLOCK_CONTENT_UNSAFE
- BLOCK_UNSUPPORTED_SEARCH_APP
- BLOCK_CONTINUE_CONTENT_UNSAFE

関連項目

- [ACL デシジョン タグ\(21-19 ページ\)](#)

アクセス ポリシーでのトラフィックのリダイレクト

元の宛先がカスタム URL カテゴリの URL であるトラフィックを指定した場所にリダイレクトするように、Web セキュリティ アプライアンスを設定できます。これにより、宛先サーバではなく、アプライアンスにトラフィックをリダイレクトできます。カスタム アクセス ポリシー グループまたはグローバル ポリシー グループのトラフィックをリダイレクトできます。

はじめる前に

- トラフィックをリダイレクトするには、少なくとも 1 つのカスタム URL カテゴリを定義する必要があります。

-
- 手順 1** [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] を選択します。
- 手順 2** [URL フィルタリング (URL Filtering)] 列にある、アクセス ポリシー グループまたはグローバル ポリシー グループのリンクをクリックします。
- 手順 3** [カスタム URL カテゴリのフィルタリング (Custom URL Category Filtering)] セクションで、[カスタム カテゴリの選択 (Select Custom Categories)] をクリックします。
- 手順 4** [このポリシーのカスタムカテゴリを選択 (Select Custom Categories for this Policy)] ダイアログ ボックスで、リダイレクトするカスタム URL カテゴリに対して [ポリシーに含める (Include in policy)] を選択します。
- 手順 5** [適用 (Apply)] をクリックします。
- 手順 6** リダイレクトするカスタム カテゴリの [リダイレクト (Redirect)] 列をクリックします。
- 手順 7** [リダイレクト先 (Redirect to)] フィールドにトラフィックのリダイレクト先の URL を入力します。
- 手順 8** 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。



- (注) トラフィックをリダイレクトするようにアプライアンスを設定する場合は、無限ループにならないように注意してください。
-

関連項目

- [カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 \(9-16 ページ\)](#)

ロギングとレポート

トラフィックをリダイレクトすると、最初に要求された Web サイトのアクセス ログ エントリに REDIRECT_CUSTOMCAT から始まる ACL タグが付きます。以降、アクセス ログ (通常は次の行) にリダイレクト先の Web サイトのエントリが表示されます。

[レポート (Reporting)] タブに表示されるレポートでは、リダイレクトされたトランザクションは [許可 (Allowed)] と示されます。

ユーザへの警告と続行の許可

サイトが組織の利用規定を満たしていないことをユーザに警告できます。認証によってユーザ名が使用可能になっている場合、アクセス ログではユーザ名でユーザが追跡され、ユーザ名が使用できない場合は IP アドレスによって追跡されます。

以下のいずれかの方法を使用して、ユーザに警告したり、続行を許可することができます。

- アクセス ポリシー グループの URL カテゴリに対して [警告 (Warn)] アクションを選択します。または
- サイト コンテンツ レーティング機能をイネーブルにして、アダルト コンテンツにアクセスするユーザをブロックする代わりに、ユーザに警告します。

[エンドユーザ フィルタリング警告 (End-User Filtering Warning)] ページの設定



(注) 「警告して継続」機能は、HTTP トランザクションと復号化された HTTPS トランザクションに対してのみ機能します。ネイティブ FTP トランザクションでは機能しません。



(注) URL フィルタリング エンジンには、特定の要求についてユーザに警告する場合に、Web プロキシがエンドユーザに送信する警告ページを提供します。ただし、すべての Web サイトでエンドユーザに警告ページが表示されるわけではありません。表示されない場合、ユーザは [警告 (Warn)] オプションが割り当てられている URL からブロックされます。引き続きそのサイトにアクセスするチャンスは与えられません。

- 手順 1 [セキュリティ サービス (Security Services)] > [ユーザ通知 (End-User Notification)] を選択します。
- 手順 2 [設定の編集 (Edit Settings)] をクリックします。
- 手順 3 [エンドユーザ フィルタリング警告 (End-User Filtering Warning)] ページで以下の設定項目を設定します。

オプション	方法
警告の時間間隔 (Time Between Warning)	[警告の時間間隔 (Time Between Warning)] では、Web プロキシが、ユーザごとに各 URL カテゴリに対して、[エンドユーザ フィルタリング警告 (End-User Filtering Warning)] ページを表示する頻度を指定します。この設定は、ユーザ名によって追跡されるユーザと IP アドレスによって追跡されるユーザに適用されます。 30 ~ 2678400 秒 (1 か月) の任意の値を指定します。デフォルトは 1 時間 (3600 秒) です。
カスタム メッセージ (Custom Message)	カスタム メッセージは、ユーザによって入力されるテキストであり、すべての [エンドユーザ フィルタリング警告 (End-User Filtering Warning)] ページに表示されます。いくつかの単純な HTML タグを組み込み、テキストを書式設定できます。

- 手順 4 [送信 (Submit)] をクリックします。

関連項目

- [アダルト コンテンツのフィルタリング \(9-21 ページ\)](#)
- [通知ページ上のカスタム メッセージ \(17-10 ページ\)](#)
- [エンドユーザ URL フィルタリング警告ページの設定 \(17-9 ページ\)](#)

時間ベースの URL フィルタの作成

特定カテゴリの URL の要求を日時別に処理するように Web Security Appliance を設定できます。

はじめる前に

[Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [定義済み時間範囲 (Defined Time Range)] に移動し、1 つ以上の時間範囲を定義します。

-
- 手順 1 [Web セキュリティ マネージャ (Web Security Manager)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] を選択します。
 - 手順 2 ポリシー テーブルで、編集するポリシー グループの [URL フィルタ (URL Filtering)] 列にあるリンクをクリックします。
 - 手順 3 時間範囲に基づいて設定するカスタム URL カテゴリまたは定義済み URL カテゴリに対して、[時間ベース (Time-Based)] を選択します。
 - 手順 4 [時間範囲内 (In Time Range)] フィールドで、URL カテゴリに使用する定義済みの時間範囲を選択します。
 - 手順 5 [アクション (Action)] フィールドで、定義時間範囲内におけるこの URL カテゴリのトランザクションに適用するアクションを選択します。
 - 手順 6 [それ以外の場合 (Otherwise)] フィールドで、定義時間範囲外におけるこの URL カテゴリのトランザクションに適用するアクションを選択します。
 - 手順 7 変更を送信して確定します ([送信 (Submit)] と [変更を確定 (Commit Changes)])。
-

関連項目

- [時間範囲およびクォータ \(10-20 ページ\)](#)

URL フィルタリング アクティビティの表示

[レポート (Reporting)] > [URL カテゴリ (URL Categories)] ページには、一致した上位の URL カテゴリとブロックされた上位の URL カテゴリに関する情報を含む、総合的な URL 統計情報が表示されます。また、帯域幅の節約と Web トランザクションに関するカテゴリ固有のデータも表示されます。

関連項目

- [エンドユーザのアクティビティをモニタするレポートの生成 \(18-1 ページ\)](#)

フィルタリングされない未分類のデータについて

[レポート (Reporting)] > [URL カテゴリ (URL Categories)] ページで URL 統計情報を検討する際は、以下のデータの解釈方法を理解しておくことが大切です。

データ タイプ	説明
URL フィルタリングのバイパス (URL Filtering Bypassed)	URL フィルタリングの前に実行されるポリシー、ポートおよび管理ユーザ エージェントのブロッキングを示します。
分類されてないURL (Uncategorized URL)	URL フィルタリング エンジンに照会したが、カテゴリが一致しなかったすべてのトランザクションを表しています。

アクセス ログへの URL カテゴリの記録

アクセス ログ ファイルでは、各エントリのスキャン判定情報セクションにトランザクションの URL カテゴリが記録されます。

関連項目

- [ログによるシステム アクティビティのモニタ \(21-1 ページ\)](#)。
- [URL カテゴリについて \(9-30 ページ\)](#)

正規表現

Web Security Appliance で使用される正規表現構文は、他の Velocity パターン マッチング エンジンの実装で使用される正規表現構文とはやや異なっています。また、アプライアンスは、バックスラッシュによるスラッシュのエスケープはサポートしていません。正規表現でスラッシュを使用する必要がある場合は、バックスラッシュなしでスラッシュを入力します。



(注)

技術的には、AsyncOS for Web では Flex 正規表現アナライザが使用されています。

正規表現は以下の個所で使用できます。

- **アクセス ポリシーのカスタム URL カテゴリ。**アクセス ポリシー グループで使用するカスタム URL カテゴリを作成する際は、正規表現を使用して、入力したパターンと一致する複数の Web サーバを指定できます。
- **ブロックするカスタム ユーザ エージェント。**アクセス ポリシー グループをブロックするようにアプリケーションを編集する際は、正規表現を使用して、ブロックする特定のユーザ エージェントを入力できます。



(注)

広範な文字照合を実行する正規表現はリソースを消費し、システム パフォーマンスに影響を与える可能性があります。したがって、正規表現は慎重に適用する必要があります。

関連項目

- [カスタムおよび外部 URL カテゴリの作成と編集 \(9-16 ページ\)](#)

正規表現の形成

正規表現は、一般的に、表現における「一致」を利用するルールです。これらを適用することで、特定の URL 宛先や Web サーバに一致させることができます。たとえば、以下の正規表現は blocksite.com を含むパターンに一致します。

```
\.blocksite\.com
```

以下の正規表現の例を考えてください。

```
server[0-9]\.example\.com
```

この例では、server[0-9] は example.com ドメインの server0、server1、server2、...server9 と一致します。

以下の例では、正規表現は downloads ディレクトリ内の .exe、.zip、bin で終わるファイルに一致します。

```
/downloads/.*\.(exe|zip|bin)
```



(注) 空白または英数字以外の文字を含む正規表現は、ASCII 引用符で囲む必要があります。

検証エラーを回避するための注意事項

重要:63 文字以上を返す正規表現は失敗し、無効なエントリのエラーが生成されます。必ず、63 文字以上を返す可能性がない正規表現を作成してください。

検証エラーを最小限に抑えるため、以下の注意事項に従ってください。

- 可能な限り、ワイルドカードやカッコで囲んだ式ではなく、リテラル式を使用してください。リテラル式とは、「It's as easy as ABC123」のような基本的に加工されていないテキストです。この式は、「It's as easy as [A-C]{3}[1-3]{3}」を使用するよりも失敗する可能性が低くなります。後者の式では、結果として非決定性有限オートマトン(NFA)エントリが生じるため、処理時間が大幅に長くなる可能性があります。
- エスケープしていないピリオドの使用は可能な限り避けてください。ピリオドは特別な正規表現文字であり、改行文字以外のあらゆる文字に一致します。たとえば、「url.com」などの実際のピリオドと一致させたい場合は、「url\.com」のように \ 文字を使用してピリオドをエスケープします。エスケープされたピリオドはリテラル入力と見なされるので、問題が生じません。
- ピリオドの後に 63 文字以上を返すパターン内のエスケープされていないピリオドは、パターンマッチングエンジンによって無効化されます。その影響についてのアラートがユーザに送信され、パターンを修正または置換するまで更新のたびにアラートを受信し続けます。
可能な限り、エスケープしていないピリオドではなく、より具体的な一致パターンを使用してください。たとえば、後ろに 1 つの数字が続く URL に一致させるには、「url.」ではなく、「url[0-9]」を使用します。

- 長い正規表現でエスケープしていないピリオドを使用することは、特に問題を引き起こすので、避ける必要があります。たとえば、「Four score and seven years ago our fathers brought forth on this continent, a new nation, conceived in Liberty, and dedicated to the proposition that all men are created .qual」はエラーを引き起こす可能性があります。ピリオドを含む「.qual」をリテラルの「equal」に置き換えると問題が解決します。

また、パターン内のエスケープされていないピリオドは、パターン マッチング エンジンによってピリオドが無効にされた後、63 文字以上を返します。パターンを修正するか、置き換えてください。

- 正規表現を終了または開始する場合は「*」は使用できません。また、URL に一致させるために「/」を使用したり、その最後にドットを使用することはできません。
- ワイルドカードとカッコの組み合わせは、問題を引き起こす可能性があります。この組み合わせをできる限り使用しないようにしてください。たとえば、
「id:[A-F0-9]{8}-[A-F0-9]{4}-[A-F0-9]{4}-[A-F0-9]{4}-[A-F0-9]{12}\) Gecko/20100101 Firefox/9\.\0\.\1\\$\}」はエラーを引き起こしますが、「Gecko/20100101 Firefox/9\.\0\.\1\\$\}」は問題ありません。後者の式にはワイルドカードやカッコで囲まれた式が含まれておらず、また、どちらの式でもエスケープされたピリオドが使用されています。

ワイルドカードやカッコで囲まれた式を排除できない場合は、式のサイズと複雑さを減らすようにしてください。たとえば、「[0-9a-z]{64}」はエラーが引き起こす可能性があります。「[0-9]{64}」または「[0-9a-z]{40}」のように、より短いまたはより単純な表現に変更すると、問題が解決します。

エラーが発生した場合は、ワイルドカード（「*」、「+」、「.」など）やカッコで囲まれた式に前述のルールを適用して、問題を解決してください。



(注)

CLI オプション `advancedproxyconfig > miscellaneous > Do you want to enable URL lower case conversion for velocity regex?` を使用して、大文字と小文字を区別しないマッチングの場合に小文字に変換するデフォルトの正規表現変換をイネーブルまたはディセーブルにすることができます。このオプションは、大文字と小文字の区別が重要な状況で問題が発生する場合に使用します。このオプションの詳細については、[Web セキュリティ アプライアンスの CLI コマンド \(B-6 ページ\)](#) を参照してください。

正規表現の文字テーブル

メタ文字	説明
.	改行文字(0x0A)を除く任意の文字と一致します。たとえば、正規表現「r.t」は文字列 rat、rut、r t と一致しますが、root とは一致しません。 長いパターン内、特に長いパターンの途中でエスケープしていないピリオドを使用する場合は、慎重に行ってください。詳細については、 検証エラーを回避するための注意事項(9-28 ページ) を参照してください。
*	直前の正規表現の 0 回または複数回の出現と一致します。たとえば、「.*」は任意の文字列と一致し、「[0-9]*」は任意の数字と一致します。 このメタ文字を使用する場合(特にピリオドと一緒に使用する場合は)、慎重に使用してください。エスケープされていないピリオドを含むパターンは、ピリオドが無効になった後に 63 文字文字以上を返します。詳細については、 検証エラーを回避するための注意事項(9-28 ページ) を参照してください。
\	エスケープ文字。以下のメタ文字を通常の文字として扱うための文字です。たとえば、「\^」は、行の先頭ではなく、キャレット記号(^)と一致させる場合に使用します。同様に、「\。」は、任意の 1 文字ではなく、実際のピリオドと一致させる場合に使用します。
^	行の先頭と一致します。たとえば、正規表現「^when in matches」は、「When in the course of human events」の先頭と一致しますが、「What and when in the」とは一致しません。
\$	行または文字列の末尾と一致します。たとえば、「b\$」は末尾が「b」のあらゆる行または文字列と一致します。

メタ文字	説明
+	直前の正規表現の 1 回以上の出現と一致します。たとえば、正規表現「9+」は 9、99、および 999 と一致します。
?	直前の正規表現の 0 回または 1 回の出現と一致します。たとえば、「colou?r」は、「u」が任意であるため、「colour」と「color」のどちらとも一致します。
()	左右のカッコの間の式を 1 つのグループとして扱い、他のメタ文字の範囲を制限します。たとえば、「(abc)+」は文字列「abc」の 1 回以上の出現と一致します。「abcabcabc」や「abc123」とは一致しますが、「abab」や「ab123」とは一致しません。
	論理和 (OR): 前のパターンまたは後ろのパターンと一致します。たとえば、「(him her)」は、行「it belongs to him」や「it belongs to her」と一致し、「it belongs to them」とは一致しません。
[]	<p>カッコで囲まれた文字列の 1 文字に一致します。たとえば、正規表現「r[aeu]t」は、「rat」、「rot」、「rut」と一致し、「ret」とは一致しません。</p> <p>文字の範囲は先頭文字、ハイフン、および終了文字で指定します。たとえば、パターン「[0-9]」は任意の数字と一致します。複数の範囲も指定できます。パターン「[A-Za-z]」は大文字または小文字を示しています。範囲外(補集合)の文字を照合するには、左角カッコの後に先頭文字を示すキャレット記号を使用します。たとえば、式「[^269A-Z]」は 2、6、9、および大文字以外の文字と一致します。</p>
{ }	<p>前のパターンと一致する回数を指定します。</p> <p>次に例を示します。</p> <p>D{1,3} は、文字 D が 1 ~ 3 回出現する場合に一致します。</p> <p>前のパターンが特定の回数({n})または特定回数以上({n,})出現する場合に一致します。たとえば、式 A[0-9]{3} は後ろに 3 桁の数字が続く「A」と一致します。つまり、「A123」とは一致しますが、「A1234」とは一致しません。式 [0-9]{4,} は 4 桁以上の任意の数字と一致します。</p>
"..."	引用符で囲まれた文字を文字どおり解釈します。

URL カテゴリについて

この項には、Cisco Web Usage Controls の URL カテゴリが記載されています。表には URL カテゴリ名の省略形も記載されています。これらの省略形は、アクセスログファイルエントリの [Web レピュテーションフィルタリング (Web Reputation Filtering)] や [マルウェア対策スキャン (Anti-malware Scanning)] セクションに表示されることがあります。



(注)

アクセスログでは、Cisco Web Usage Controls の URL カテゴリの各省略形の前にプレフィックス「IW_」が付いています。つまり、「art」カテゴリは「IW_art」となります。

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
アダルト (Adult)	adlt	1006	成人向けのコンテンツを指しますが、ポルノだけではなくありません。アダルト向けのナイトクラブ(ストリップクラブ、スワッピングクラブ、同伴サービス、ストリッパーなど)、セックスに関する全般情報(ポルノとは限らない)、性器ピアス、アダルト向けの製品やグリーティングカード、健康や疾病関連以外の性行為に関する情報などもこれに含まれる場合があります。	www.adultentertainmentexpo.com www.adultnetline.com
広告 (Advertisements)	adv	1027	Web ページに表示されることの多いバナー広告やポップアップ広告、その他の広告コンテンツを提供している広告関連 Web サイト。広告サービスおよび広告営業は、[ビジネスおよび産業 (Business and Industry)] カテゴリに分類されます。	www.adforce.com www.doubleclick.com
アルコール (Alcohol)	alc	1077	嗜好品としての酒、ビールやワインの醸造、カクテルのレシピ、リキュール販売、ワイナリー、ブドウ園、ビール工場、アルコール類の販売元など。アルコール依存症は [健康および栄養 (Health and Nutrition)] カテゴリに分類されます。バーおよびレストランは [飲食 (Dining and Drinking)] カテゴリに分類されます。	www.samueladams.com www.whisky.com
芸術 (Arts)	art	1002	画廊および展示会、芸術家および芸術作品、写真、文学および書籍、舞台芸術および劇場、ミュージカル、バレエ、美術館、デザイン、建築。映画およびテレビは [エンターテインメント (Entertainment)] に分類されます。	www.moma.org www.nga.gov
占星術 (Astrology)	astr	1074	占星術、ホロスコープ、占い、数霊術、霊能者による助言、タロット。	www.astro.com www.astrology.com
オークション (Auctions)	auct	1088	オンラインまたはオフラインのオークション、オークション会社、オークション案内広告など。	www.craigslist.com www.ebay.com
ビジネスおよび産業 (Business and Industry)	busi	1019	マーケティング、商業、企業、商慣行、労働力、人材、運輸、給与計算、セキュリティとベンチャーキャピタル、オフィス用品、工業装置(加工装置)、機械と機械システム、加熱装置、冷却装置、資材運搬機器、梱包装置、製造、固体運搬、金属製作、建造と建造物、旅客輸送、商業、工業デザイン、建築、建築資材、運送と貨物(貨物取扱業務、トラック輸送、運送会社、トラック輸送業者、貨物ブローカと輸送ブローカ、速達サービス、運送取引マッチング、追跡とトレース、鉄道輸送、海上輸送、ロードフィーダ サービス、引っ越し、保管)。	www.freightcenter.com www.staples.com

URL カテゴリについて

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
チャットおよびインスタントメッセージ(Chat and Instant Messaging)	chat	1040	Web ベースのインスタント メッセージおよびチャット ルーム。	www.icq.com www.meebo.com
不正行為および盗用(Cheating and Plagiarism)	plag	1051	不正行為を助長したり、盗用目的で学期末論文などの書物を販売するもの。	www.bestessays.com www.superiorpapers.com
児童虐待コンテンツ(Child Abuse Content)	cprn	1064	世界中の違法な児童性的虐待コンテンツ。	—
コンピュータ セキュリティ(Computer Security)	csec	1065	企業ユーザおよび家庭ユーザ向けのセキュリティ製品およびセキュリティ サービス。	www.computersecurity.com www.symantec.com
コンピュータおよびインターネット(Computers and Internet)	comp	1003	コンピュータおよびソフトウェアに関する情報(ハードウェア、ソフトウェア、ソフトウェア サポートなど)、ソフトウェア エンジニア向けの情報、プログラミング、ネットワーク、Web サイト設計、Web およびインターネット全般、コンピュータ科学、コンピュータ グラフィック、クリップアートなど。フリーウェアとシェアウェアは、[フリーウェアおよびシェアウェア(Freeware and Shareware)] カテゴリに分類されます。	www.xml.com www.w3.org
出会い系(Dating)	date	1055	出会い系サイト、結婚紹介所など。	www.eharmony.com www.match.com
デジタル ポストカード(Digital Postcards)	card	1082	デジタル ポストカードや電子カードの送信。	www.all-yours.net www.delivr.net
飲食(Dining and Drinking)	food	1061	飲食店、レストラン、バー、居酒屋、パブ、レストラン ガイド、レストラン レビューなど。	www.hideawaybrewpub.com www.restaurantrow.com
DIY プロジェクト(DIY Projects)	diy	1097	エキスパートや専門家の支援を受けずに、物品を作成、改善、変更、装飾、修復するためのガイダンスおよび情報。	www.familyhandyman.com www.diy-tips.co.uk
ダイナミックおよびレジデンシャル(Dynamic and Residential)	dyn	1091	ブロードバンドリンクの IP アドレス。通常は、ホーム ネットワークへのアクセスを試みているユーザを示します。たとえば、ホーム コンピュータへのリモート セッションの場合などです。	http://109.60.192.55 http://dynalink.co.jp http://ipadsl.net
教育(Education)	edu	1001	教育関連の Web サイト。例: 学校、短大、大学、教材、教師用資料、技術訓練、職業訓練、オンライン トレーニング、教育問題、教育政策、学資援助、学校助成金、規範、試験など。	www.education.com www.greatschools.org

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
エンターテインメント (Entertainment)	ent	1093	映画、音楽、バンド、テレビ、芸能人、ファン サイト、エンターテインメント ニュース、芸能界のゴシップ、エンターテインメント会場などに関する詳細や批評。[芸術 (Arts)] カテゴリとの違いを確認してください。	www.eonline.com www.ew.com
過激 (Extreme)	extr	1075	性的暴力または犯罪性のあるもの、暴力および暴力的行為、悪趣味な写真やむごたらしい写真 (死体画像など)、犯罪現場写真、犯罪被害者や事故被害者の写真、過度にわいせつな文章や写真、衝撃的な内容の Web サイト。	www.car-accidents.com www.crime-scene-photos.com
ファッション (Fashion)	fash	1076	衣料、服飾、美容室、化粧品、アクセサリ、宝飾品、香水、身体改造に関連する図表や文章、タトゥー、ピアス、モデル事務所。皮膚関連製品は [健康および栄養 (Health and Nutrition)] カテゴリに分類されます。	www.fashion.net www.findabeautysalon.com
ファイル転送サービス (File Transfer Services)	fts	1071	ダウンロード サービスやホスティングによるファイル共有を主目的とするファイル転送 サービス	www.rapidshare.com www.yousendit.com
フィルタリング回避 (Filter Avoidance)	filt	1025	検出されない匿名の Web 利用を促進および支援する Web サイト。例: cgi, php, glype を使用した匿名プロキシ サービス。	www.bypassschoolfilter.com www.filterbypass.com
財務 (Finance)	fnnc	1015	金融や財務に関連するもの。例: 会計実務、会計士、課税、税、銀行、保険、投資、国家経済、個人資産管理 (各種保険、クレジットカード、個人退職金積立計画、遺産相続計画、ローン、住宅ローンなど)。株は [オンライントレード (Online Trading)] に分類されます。	finance.yahoo.com www.bankofamerica.com
フリーウェアおよびシェアウェア (Freeware and Shareware)	free	1068	フリー ソフトウェアやシェアウェア ソフトウェアをダウンロードできるサイト。	www.freewarehome.com www.shareware.com
ギャンブル (Gambling)	gamb	1049	カジノ、オンライン ギャンブル、ブックメーカー、オッズ、ギャンブルに関する助言、ギャンブルの対象となっているレース、スポーツブックキング、スポーツ ギャンブル、株式スプレッドベッティングサービス。ギャンブル依存を扱う Web サイトは [健康および栄養 (Health and Nutrition)] に分類されます。国営宝くじは [宝くじ (Lotteries)] に分類されます。	www.888.com www.gambling.com
ゲーム (Games)	game	1007	さまざまなカード ゲーム、ボード ゲーム、ワード ゲーム、ビデオ ゲーム、戦闘ゲーム、スポーツ ゲーム、ダウンロード型ゲーム、ゲーム批評、攻略本、コンピュータ ゲーム、インターネットゲーム (ロールプレイング ゲームなど)。	www.games.com www.shockwave.com

URL カテゴリについて

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
政府および法律 (Government and Law)	gov	1011	政府 Web サイト、外交関係、政府および選挙に関するニュースや情報、法律分野に関する情報（法律家、法律事務所、法律関連の出版物、法律関連の参考資料、裁判所、訴訟事件一覧表、法律関連の協会など）、立法および判例、市民権問題、移民関連、特許、著作権、法執行制度および矯正制度に関する情報、犯罪報道、法的措置、犯罪統計、軍事（軍隊、軍事基地、軍組織など）、テロ対策。	www.usa.gov www.law.com
ハッキング (Hacking)	hack	1050	Web サイト、ソフトウェア、およびコンピュータのセキュリティを回避する方法に関する議論。	www.hackthissite.org www.gohacking.com
ヘイトスピーチ (Hate Speech)	hate	1016	社会集団、肌の色、宗教、性的指向、障がい、階級、民族、国籍、年齢、性別、性同一性に基づいて、憎悪、不寛容、差別を助長する Web サイト。人種差別、性差別、人種差別的な神学、人種差別的な音楽、ネオナチ組織、特定民族至上主義、ホロコースト否定論を助長するサイト。	www.kkk.com www.nazi.org
健康および栄養 (Health and Nutrition)	hlth	1009	健康管理、疾病および障がい、医療、病院、医師、医薬品、精神衛生、精神医学、薬理学、エクササイズおよびフィットネス、身体障がい、ビタミン剤およびサプリメント、健康（疾病および健康管理）にかかわる性行為、喫煙、飲酒、薬物使用、健康（疾病および健康管理）にかかわるギャンプル、食物全般、飲食、調理およびレシピ、食物と栄養、健康維持および食事療法、レシピや料理に関する Web サイトを含む料理全般、代替医療など。	www.health.com www.webmd.com
ユーモア (Humor)	lol	1079	ジョーク、寸劇、漫画、その他のユーモラスなコンテンツ。不快感を与える可能性のあるアダルトユーモアは [アダルト (Adult)] に分類されます。	www.humor.com www.jokes.com
ハンティング	hunt	1098	職業またはスポーツとしての狩猟、ガンクラブ、およびその他の狩猟関連のサイト。	www.africanskyhunting.co.za www.gillsprimitivearchery.com
違法行為 (Illegal Activities)	ilac	1022	犯罪（窃盗、詐欺、電話回線への違法アクセスなど）の助長。コンピュータウイルス、テロ、爆弾、無政府主義。自他殺の方法の記載など殺人や自殺に関する描写を含む Web サイト。	www.ekran.no www.thedisease.net
違法ダウンロード (Illegal Downloads)	ildl	1084	著作権契約に違反して、ソフトウェアやその他の情報、シリアル番号、キー生成ツール、ソフトウェアプロテクション回避ツールなどをダウンロードできる Web サイト。Torrent は [ピアファイル転送 (Peer File Transfer)] に分類されます。	www.keygenguru.com www.zcrack.com
違法ドラッグ (Illegal Drugs)	drug	1047	娯楽用薬物、吸引道具、薬物の購入および製造に関する情報。	www.cocaine.org www.hightimes.com

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
インフラおよびコンテンツ配信ネットワーク (Infrastructure and Content Delivery Networks)	infr	1018	コンテンツ配信インフラおよび動的に生成されるコンテンツ、セキュリティ保護されていたり分類が困難なために細かく分類できない Web サイト。	www.akamai.net www.webstat.net
インターネット電話 (Internet Telephony)	v oip	1067	インターネットを利用した電話サービス。	www.evaphone.com www.skype.com
求職 (Job Search)	job	1004	職業に関する助言、履歴書の書き方、面接に関するスキル、就職斡旋サービス、求人データベース、職業紹介所、人材派遣会社、雇用主の Web サイトなど。	www.careerbuilder.com www.monster.com
下着および水着 (Lingerie and Swimsuits)	ling	1031	下着および水着。特にモデルが着用している Web サイト。	www.swimsuits.com www.victoriassecret.com
宝くじ (Lotteries)	lotr	1034	懸賞くじ、コンテスト、および公営宝くじ。	www.calottery.com www.flalottery.com
[軍 (Military)]	mil	1099	軍隊、武装部隊、軍事基地、軍事組織、テロ対策。	www.goarmy.com www.raf.mod.uk
携帯電話 (Mobile Phones)	cell	1070	ショートメッセージサービス (SMS)、着信音などの携帯電話用ダウンロードサービス。携帯電話会社の Web サイトは、[ビジネスおよび産業 (Business and Industry)] カテゴリに分類されます。	www.cbfsms.com www.zedge.net
自然 (Nature)	natr	1013	天然資源、生態学および自然保護、森林、原生地、植物、草花、森林保護、森林、原生林および林業、森林管理 (再生、保護、保全、伐採、森林状態、間伐、計画的火入れ)、農作業 (農業、ガーデニング、園芸、造園、種まき、除草、灌漑、剪定、収穫)、環境汚染問題 (大気質、有害廃棄物、汚染防止、リサイクル、廃棄物処理、水質、環境産業)、動物、ペット、家畜、動物学、生物学、植物学。	www.enature.com www.nature.org
ニュース (News)	news	1058	ニュース、ヘッドライン、新聞、テレビ局、雑誌、天気、スキー場情報。	www.cnn.com news.bbc.co.uk
非政府組織 (Non-Governmental Organizations)	ngo	1087	クラブ、圧力団体、コミュニティ、非営利組織、労働組合など。	www.panda.org www.unions.org
性的でないヌード (Non-Sexual Nudity)	nsn	1060	ヌーディズム、ヌード、自然主義、ヌーディストキャンプ、芸術的ヌードなど。	www.artenuda.com www.naturistsociety.com

URL カテゴリについて

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
オンライン コミュニティ (Online Communities)	comm	1024	アフィニティ グループ、同じ興味を持つ人々の集まり (SIG)、Web ニュースグループ、メッセージ ボードなど。[プロフェッショナル ネットワーキング (Professional Networking)] カテゴリまたは [ソーシャル ネットワーキング (Social Networking)] カテゴリに分類される Web サイトはここには含まれません。	www.igda.org www.ieee.org
オンライン会議 (Online Meetings)	meet	1100	オンライン会議、デスクトップ共有、リモートアクセス、および複数の場所のコラボレーションを容易にするその他のツール。	www.webex.com www.gotomeeting.com
オンライン ストレージおよびバックアップ (Online Storage and Backup)	osb	1066	バックアップ、共有、ホスティングを目的としたオフサイト ストレージおよびピアツーピア型ストレージ。	www.adrive.com www.dropbox.com
オンライン トレード (Online Trading)	trad	1028	オンライン証券会社、ユーザがオンラインで株取引できる Web サイト、株式市場。株式、債券、投資信託会社、ブローカー、株式市場の分析と解説、株式審査、株価チャート、IPO、株式分割に関する情報。株式スプレッド ベットティング サービスは [ギャンブル (Gambling)] に分類されます。その他の金融サービスは [財務 (Finance)] に分類されます。	www.tdameritrade.com www.scottrade.com
業務用電子メール (Organizational Email)	pem	1085	業務上の電子メールを利用する際に使用する Web サイト (通常は Outlook Web Access によりアクセス)。	—
超常現象 (Paranormal)	prnm	1101	UFO、幽霊、未確認動物、テレキネシス、都市伝説、神話。	www.phantomsandmonsters.com www.cryptozoology.com
パーク ドメイン (Parked Domains)	park	1092	広告ネットワークの有料リスティング サービスを利用してそのドメインのトラフィックから収益を得ようとする Web サイト、またはドメイン名を販売して利益を得ようと考えている「不正占拠者」が所有する Web サイト。有料広告リンクを返す偽の検索サイトも含まれます。	www.domainzaar.com www.parked.com
ピア ファイル転送 (Peer File Transfer)	p2p	1056	ピアツーピア型のファイル要求 Web サイト。ファイル転送自体のトラッキングは行いません。	www.bittorrent.com www.limewire.com
個人サイト (Personal Sites)	pers	1081	個人が運営している個人関連の Web サイト、個人用ホーム ページサーバ、個人コンテンツが公開されている Web サイト、特定のテーマのない個人ブログなど。	www.karymullis.com www.stallman.org
パーソナル VPN (Personal VPN)	pvpn	1102	仮想プライベート ネットワーク (VPN) サイト、または一般的に個人使用向けのツール (法人による使用の可否は場合による)。	www.bartvpn.com www.hotspotshield.com

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
写真検索および画像 (Photo Searches and Images)	img	1090	画像、写真、クリップ アートの保存と検索を行うための Web サイト。	www.flickr.com www.photobucket.com
政治 (Politics)	pol	1083	政治家、政党。政治、選挙、民主主義、投票などに関連するニュースや情報の Web サイト。	www.politics.com www.thisnation.com
ポルノ (Pornography)	porn	1054	性的表現が露骨な文章や画像。性的表現が露骨なアニメや漫画、性的表現が露骨な描写全般、フェチ志向の文章や画像、性的表現が露骨なチャットルーム、セックス シミュレータ、ストリップ ポーカー、アダルト映画、わいせつな芸術、性的表現が露骨な Web メールなど。	www.redtube.com www.youporn.com
プロフェッショナル ネットワーキング (Professional Networking)	pnet	1089	キャリア開発や専門の開発を目的としたソーシャル ネットワーキング。[ソーシャル ネットワーキング (Social Networking)] も参照してください。	www.linkedin.com www.europeanpwn.net
不動産 (Real Estate)	rest	1045	不動産の検索に役立つ情報、事務所および商業区画、不動産物件一覧 (賃貸、アパート、戸建てなど)、住宅建築など。	www.realtor.com www.zillow.com
参考資料	ref	1017	都道府県および市区町村の案内情報、地図、時刻、参考文献、辞書、図書館など。	www.wikipedia.org www.yellowpages.com
宗教 (Religion)	rel	1086	宗教に関するコンテンツ、宗教に関する情報、宗教団体。	www.religionfacts.com www.religioustolerance.org
SaaS および B2B (SaaS and B2B)	saas	1080	オンライン ビジネス サービス用 Web ポータル、オンライン会議。	www.netsuite.com www.salesforce.com
子供向け (Safe for Kids)	kids	1057	幼児や児童向けに作成されているか、明示的に幼児や児童向けと認められている Web サイト。	kids.discovery.com www.nickjr.com
科学技術 (Science and Technology)	sci	1012	科学技術 (航空宇宙、電子工学、工学、数学など)、宇宙探査、気象学、地理学、環境、エネルギー (化石燃料、原子力、再生可能エネルギー)、通信 (電話、電気通信) など。	www.physorg.com www.science.gov
検索エンジンおよびポータル (Search Engines and Portals)	srch	1020	検索エンジンなど、インターネット上の情報にアクセスするための起点となるサイト。	www.bing.com www.google.com
性教育 (Sex Education)	sxed	1052	事実に基づいて性的情報を扱う Web サイト、性的健康、避妊、妊娠など。	www.avert.org www.scarleteen.com
ショッピング (Shopping)	shop	1005	物々交換、オンライン購入、クーポン、無料提供、事務用品、オンライン カタログ、オンライン モールなど。	www.amazon.com www.shopping.com

URL カテゴリについて

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
ソーシャル ネットワーキング (Social Networking)	snet	1069	ソーシャル ネットワーキング関連。[プロフェッショナル ネットワーキング (Professional Networking)] も参照してください。	www.facebook.com www.twitter.com
社会科学 (Social Science)	socs	1014	社会に関係する科学と歴史、考古学、文化人類学、文化学、歴史学、言語学、地理学、哲学、心理学、女性学。	www.archaeology.org www.anthropology.net
社会および文化 (Society and Culture)	scty	1010	家族および家族関係、民族性、社会組織、家系、高齢者、保育など。	www.childcare.gov www.familysearch.org
ソフトウェア アップデート (Software Updates)	swup	1053	ソフトウェア パッケージに対する更新プログラムを提供している Web サイト。	www.softwarepatch.com www.versiontracker.com
スポーツおよび娯楽 (Sports and Recreation)	sprt	1008	すべてのプロ スポーツおよびアマチュア スポーツ、レクリエーション活動、釣り、ファンタジー スポーツ (ゲーム)、公園、遊園地、レジャープール、テーマ パーク、動物園、水族館、温泉施設など。	www.espn.com www.recreation.gov
ストリーミング オーディオ (Streaming Audio)	aud	1073	リアルタイム ストリーミング オーディオ コンテンツ (インターネット ラジオやオーディオ フィードなど)。	www.live-radio.net www.shoutcast.com
ストリーミング ビデオ (Streaming Video)	vid	1072	リアルタイム ストリーミング ビデオ (インターネット テレビ、Web キャスト、動画共有など)。	www.hulu.com www.youtube.com
タバコ (Tobacco)	tob	1078	愛煙家の Web サイト、タバコ製造会社、パイプと喫煙製品 (違法薬物吸引用でないもの) など。タバコ依存症は [健康および栄養 (Health and Nutrition)] カテゴリに分類されます。	www.bat.com www.tobacco.org
交通 (Transportation)	trns	1044	個人用の乗り物、自動車およびバイクに関する情報、新車、中古車、オートバイの購入、自動車愛好会、小型船舶、航空機、レジャー用自動車 (RV) など。自動車レースおよびバイク レースは [スポーツおよび娯楽 (Sports and Recreation)] に分類されます。	www.cars.com www.motorcycles.com
旅行 (Travel)	trvl	1046	出張および個人旅行、旅行情報、旅行のリソース、旅行代理店、パッケージ旅行、クルージング、宿泊、交通手段、航空便の予約、航空運賃、レンタカー、別荘など。	www.expedia.com www.lonelyplanet.com
未分類	—	—	シスコのデータベースに登録されていない Web サイトは、未分類として記録され、レポートにもそのように表示されます。誤入力された URL もこれに含まれます。	—

URL カテゴリ	省略形	コード (Code)	説明	URL の例
武器 (Weapons)	weap	1036	一般的な武器の購入および使用に関する情報 (銃販売店、銃オークション、銃の案内広告、銃の付属品、銃の展示会、銃の訓練など)、銃に関する全般情報。その他の武器や狩猟関連画像のサイトなどが含まれる場合もあります。政府の軍に関する Web サイトは、[政府および法律 (Government and Law)] カテゴリに分類されます。	www.coldsteel.com www.gunbroker.com
Web ホスティング (Web Hosting)	whst	1037	Web サイトのホスティング、帯域幅サービスなど。	www.bluehost.com www.godaddy.com
Web ページ翻訳 (Web Page Translation)	tran	1063	Web ページの翻訳。	babelfish.yahoo.com translate.google.com
Web ベースの電子メール (Web-Based Email)	メールアドレス	1038	公開されている Web ベースの電子メールサービス。個人が自分の会社または組織の電子メールサービスを利用するための Web サイトは、[業務用電子メール (Organizational Email)] カテゴリに分類されます。	mail.yahoo.com www.hotmail.com

関連項目

- [URL カテゴリ セットの更新の管理 \(9-4 ページ\)](#)
- [未分類の URL と誤分類された URL のレポート \(9-3 ページ\)](#)

